デジタル教科書指導案/地理的分野

- 1. 題材 p.2-3 私たちの住む地球を眺めて
- 2. 目標 (1) 地球儀や地図などを活用し、六大陸と三大洋の位置と名称を理解できる。
 - (2) 海峡や運河、山脈などにより、世界は六つの州に区分されることを理解できる。
- 3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント	
知識・技能	・六大陸と三大洋および六つの州の位置と名称を理解している。 ・海峡や運河、山脈などにより、世界は六つの州に区分されることを理解している。	

4. 指導過程

※ iPad では i 地球儀をご使用いただけません。

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
章の見通し	 i 地球儀を題材にし、 「章の問い」への見通 しを持つ。 	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○ i 地球儀を題材にし、北極から見た地球、南極から見た地球などさまざまな方向から地球を眺めさせながら、章の学習の見通しを持たせる。 ○ i 地球儀を使用できない場合
		さまざまな方向から地球を眺めて、気付いたことや感じたことを挙げてみよう。	は、グループごとに地球儀を準備する。 さまざまな視点から地球を眺めさせ、気付いたことや感じたこ
		「章の問い」について、学んでみたいことや、 疑問に思ったことを自分の言葉で表してみよう。	とを発表させる。 ○ 「学習の見通し・振り返りシー
		解決のために、何が分かればよいか、どのような ことを調べればよいかなど、見通しを立てよう。	ト」へ記入させ、章の学習の見通しを持たせる。
	1.「地球の衛星画像」 を題材にし、本時の課 題をつかむ。	p.2 1	○ 「陸が多く見える向きから見た地球」と「海が多く見える向きから見た地球」の衛星画像を題材にし、本時への導入を図る。
導入		(図I) (図I)図Iの中心と図Iの中心は、図IIのどの位置にあたるか考えてみよう。	○ 陸半球と水半球の中心は、図 Ⅲではどの辺りの位置にあたるか 考えさせる。
	2. 地球の陸と海はど ちらの面積が広いか予 想し、学習課題への見 通しを持つ。	地球は、陸地の面積と海の面積ではどちらの面積の方が広いだろうか。	○ 地球は、陸地の面積と海の面積のどちらが広いか予想させる。○ 「学習前の予想」へ記入させ、
			本時の学習展開の見通しを持たせる。

学習課題:地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。また、世界はどのように区分することができるのだろうか。

- 3. 世界の大陸名と大 洋名を理解し、大陸と 大洋の位置と分布や形 状の特色を理解する。
 - (1) 大陸名と大洋名
 - (2) 大陸と大洋の位 置と分布
 - (3) 陸地と海洋の 面積
- 4. 世界は、いくつか の州に区分できること を理解し、州の境界に ついて調べる。
 - (1) 州の区分

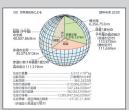
展

開

- - © p.2 1 ≥ p.2 2 (図 I) (図Ⅱ)
- - **※** p.3 4 (図Ⅱ)

大陸と大洋の名称を確認しよう。

図Ⅰと図Ⅱで、日本列島のある方向を示してみよう。



₩ 地図帳 p.165 ①

陸地と海洋の面積のおよその割合を確認してみよう。

- ーロッパ州 トルコ 州境 **5** p.3 **≝** p.3 **6**
- ₩ 地図帳 p.41-42 🥝 地図帳 p.45-46
- ₩ 地図帳 p.57-58

アジア州とヨーロッパ州、アジア州とアフリカ州、

二つの州にまたがっている国をそれぞれ地図帳で 確認しよう。

北アメリカ州と南アメリカ州の境をたどってみよう。

(2) アジア州の区分

- ≥ p.3 5

 - 🥝 地図帳 p.19-20

アジア州をいくつかの地域に区分してみよう。

◆ 日本列島の方向を確認させ、大 陸と大洋の位置関係を理解させる。

○ 学習プリントを活用し、大陸

名と大洋名の名称を整理させる。

○ 地球の衛星画像から、大陸と 大洋の位置や形状をつかませる。

- 地球の陸地の面積と海洋の面 積割合を確認させる。
- ◆ およそ3:7の割合であるこ とを理解させる。
- 地図帳を活用し、州の境界に なっている場所を確認させる。
- ◆ 海峡や運河、山脈などが州の 境界になっていることに気付かせる。
- ユーラシア大陸は、ウラル山 脈とボスポラス海峡で、ヨーロッ パ州とアジア州に分かれているこ とを理解させる。

- アジア州を地域的な特色から 五つの地域に区分させる。
- ◆ アジア州は、東アジア、東南 アジア、南アジア、西アジア、中 央アジアに区分できることを理解 させる。

5. 本時のまとめをする。

慗

理 6. 学習課題への振り 返りの活動を行う。

日本の位置を、世界の州名や近くにある大陸名と 大洋名を使って説明しよう。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

- ◆ 日本の位置をアジア州の東側 に位置し、太平洋に面しているこ とを説明できたか確認する。
- 「学習後の振り返り | へ記入 させ、「学習前の予想」と比較さ せる。